

アミール・ツアルファティ インタビュー

アミール・ツアルファティ

- CSN インターナショナルのシャノン・スコルトンによるインタビュー -

<https://youtu.be/kJlCmTSxHx4>

さあ、「真実の声」の時間です。ニュース、インタビュー、政治評論、旬^{しゅん}の話題、今日のクリスチャンに関する話題です。「真実の声」は、クリスチャンの視点からワシントンDCの情報をお届けします。司会は、シャノン・スコルトンです。「真実の声」は、旬の話題に真っ直ぐに切り込みます。腹黒い政治の世界を暴きだし、難しい問題に取り組みます。政治の誤りに反応しやすい方は、視聴者としての分別をお願いします。さあ、今日の司会、シャノン・スコルトンです。

シャノン： こんにちは。「真実の声」へようこそ。司会のシャノン・スコルトンです。今日は、ビホールド・イスラエルのアミール・ツアルファティさんが来てくれています。皆さんのほとんどは、彼のインターネット伝道でご存じかもしれません。彼が作成する素晴らしいユーチューブ動画は、何十万人ものクリスチャンが、毎日視聴しています。コンテンツには、預言に関する中東情勢アップデートがあり、世界中の人々に、イスラエル情勢を伝えています。彼は、主にある素晴らしい人です。もう、これ以上の紹介はいらなと思います。アミールさん、お元気ですか？

アミール： 素晴らしいです。とても元気です。

シャノン： よかったです。では、さっそく話に入りましょう。今日は、議論したい事や網羅^{もうら}したい事がたくさんあって、聖霊の導きを感じています。今日は、多少、技術的な制約がありますが、お話したことは、何でも皆さんに伝わると思っています。この番組にはたくさんの視聴者がいますし、アミールさんも同様、その方々に祝福がありますように。しかし、世界中でいろいろな事が起こっています。祈りと断食を通して私が明白だと思ったのは、私たちが世界で起こっていることを話す前に、ヨハネによる福音書10章10節を押さえておく事です。それは今日も明白ですし、世界中で起こっている事についても明白です。敵が来るのは、「盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。」それが敵の目的です。また、欺き、そして疑いと混乱の種をまく事も、です。今日は、沢山^{たくさん}の話題に注目して、議論したいと思っています。

アミールさんは、イスラエルの現在の情勢を観察していますが、アメリカで起きている沢山の事も観察していて、ユーチューブ動画でコメントしていますよね。アミールさんの見解を教えてください。今、起こっている、暴動、抗議、あらゆる混乱とカオスと、本当に、ただ馬鹿げた事が、本当に、浸透しています。少なくとも、今のアメリカ文化では。

アミール： ええ、まず同意します。馬鹿げたことが沢山^{たくさん}起こっています。一つ言えるのは、もし真実を聞き取れば、イスラエルのメディアも駄目です。なぜなら、世界中のメディアは、明らかに進歩的なリベラルな考え方に影響されていて、彼らはアメリカのメディア、電子媒体に餌付けされていますから。それで、同じ事がヘブル界でも起こっているわけです。しかし、私は、多くの保守的なアメリカの黒人の影響力のある人たちの話を聞きました。それから、編集されていない沢山の動画を見ました。アメリカ中の騒動の様子を撮った動画です。初日から明らかでした。ジョージ・フロイド氏が警察官に残酷に殺される必要はなかったのです。それから、アメリカで人種間の争いが始まりましたが、きっかけは何でも良かったのです。どんな事でも。なぜなら、これはトランプ氏を大統領から引きずり下ろすために、巧妙に計画された敵の戦術だ、と私は信じています。これは、アンティファが既に始めていた一連の行動の最新のものなんです。彼らは、トランプ氏が大統領に選出された最初の週からデモを行っていました。彼らは、同じ事をしていました。火をつけ、略奪し、混乱の種を撒き、そしてテロです。彼らはテロリストです。間違えてはいけませ

ん。さて、興味深い事に、ロシア疑惑が上手くいかなかった後で、ウクライナ疑惑が上手くいかなかった。その後で、弾劾^{だんがい}が上手くいかなかった。その後で、コロナウイルス、私はこれも人工的なものと信じています。ウイルスが存在することは認めますが、武漢^{ぶかん}の研究施設から放出されたのでは、と疑っています。武漢の市場で誰かが感染したものではない、と思います。そして、もちろん彼らが最初に言った事は、トランプは空路を止めるべきではなかった。そこまでやるべきではなかった。そして今は、トランプは十分にやっていない、と。そして、最後は、もちろん、最終的に、ジョージ・フロイド氏を殺した、残酷な警察官の生映像です。これが、遂に、彼らがしたかった事、革命を起こす理由になりました。彼らは何か大きな事を起こしたかったのです。そして、あの、ジョージ・ソロスの様な人たちは、もう1月に認めていました。もし、革命的な雰囲気^{ふんぎ}が漂ってきたら、それは、10か月、6か月、何であれ生涯続くようなものになるだろうと。ですから、私たちはその全てを見ることが出来ます。ほとんどの略奪者は、地元住民ですらありません。彼らは壊して、破壊して、焼き払って、そして家に帰って、居心地の良いベッドに戻ります。その時、地元住民は散らかったものを片付けないといけないのです。トランプ氏を叩き続けていたミネソタの市長は、今は支援を求めています。

シャノン： ですね（笑）

アミール： そしてまた、この進歩的な人々の考え方も見えています。あのような人々、つまり、ミネアポリスの市議会議員は、完全に警察の予算を停止する事を望んでいます。ニューヨークの市長も、警察予算の停止を希望していると聞きました。今度は、NFL（ナショナル・フットボールリーグ）が、立場を変えて、ひざまずくよう奨励^{しょうれい}するのだと聞きました。国歌が流れる間。ですから、同じ方向性が見える訳です。ところで、ほとんどのセレブたちがお金を寄付するのは、仕事を失った人や命を落とした人ではなく、警察に拘束されているテロリストの保釈金を寄付しているのです。ですから、それは異常で、狂気じみて、シャノンさんのおっしゃるように馬鹿げています。しかし、これは、新世界秩序を導入するための計算されたカオスだと考えざるを得ません。なぜなら、現実を見ましょう。政府が、自国や自国民の為に仕事をする時、それは、政府の一番大事な仕事だと私は信じますし、レーガン大統領も言っています。「政府の仕事は、国民の仕事の世話ではなく、国民を守ることだ。国民は、勉強して教育を受けて、良い仕事や何かを手に入れなければなりません。我々政府の仕事は、国民を守ることである。」もし政府が、地方自治体がこう言ったら、「私たちはあなたを助けません。自分で身を守ってください。」それは、誰かが全てを変えようと企んでいる、という事です。誰かが、新世界秩序を生み出そう、とたくらんでいるのです。その時、国や州で政府は、もはや大きな役割を担うことはなく、何かグローバルなものへと向かって行きます。そして、あらゆる所で同じような暴動や、似たような人々を見かけています。つまり、ロンドンや、パリや、ベルリンや、オーストラリアや、その他、とても多くの場所で、同じ事、同じ現象です。しかし、主を賛美しましょう。今までの所は、こうした全てのたくらみ、少なくともアメリカでは、非民主的な方法でトランプ大統領を引きずり降ろそう、というたくらみは、全て失敗してきました。私から見ると、トランプ氏は狭間に立っているように見えます。世界中の完全な狂気と、何とか正気を保ち、この国を保っているものとの狭間に。もはや問題は、アメリカの市民を守っているトランプ氏だけではありません。アメリカで起こる事は、見ての通り、今や世界中に影響します。私はトランプ氏の為に祈る必要が大いにあると思います。今は特に、です。なぜなら、イスラエルが長い間、ヨーロッパ全体と、私たちの地域を悩ますテロからの盾として役割を担ってきたように、私が信じるどころでは、トランプ大統領は、今まで、文字どおり、敬虔で、聖書的な価値観のために立ち上がっていました。それは、私たちがいなくなれば、最終的には、完全に窓から投げ捨てられてしまいます。

シャノン： その通りですね。面白いのは、これは、霊的な攻撃を超えています。つまり、これは、アメリカの働きを破壊しようと、日夜活動している悪魔の仕業です。高い地位にいる者たちが、ドアを開けて、攻撃を起こし、入り込むように仕向けているんです。そして理解しなければならないのは、トランプ氏が信者のために働けば働くほど、トランプ氏が家庭の崩壊を防ごうとするほど、そして、聖書的な原則に立ち、イスラエルを支援すればするほど、攻撃はどんどん悪くなります。これは偶然ではありません。これは…

アミール： そしてそれは、まさにそれが、攻撃がどんどん酷くなる理由です。その二つは、直接結びついています。敵が背後にいるのを見て、また、彼が正しい事をするのを見たら、…トランプ氏は正しい事をしています。明らかに、もしあなたが正しい事をしていないなら、彼らは、なぜこんなに、あなたに対して腹を立てるのでしょうか。

シャノン： あら。

アミール： ですから、それは狂気で、そして憎しみです。でもね、私たちは、それがやって来るのを見ました。つまり、この11月の選挙で終わらないように望んでいますが、この狂気が11月にアメリカ全体と、世界中を、完全に悩ます事がないよう望みますが、同時に、私たちは聖書を信じる者として、それが来るのを見ることが出来ます。聖書には、こんな風書いてある節は一つもありません。「物事は、どんどん良くなっていく。」

シャノン： はい、ですね。

アミール： 私の聖書には、物事はどんどん悪くなる、と書いてあります。

シャノン： ですね。

アミール： まさに、この為に…どうして人にはこれが見えないのか、私には分かりません。つまり、携拳の目的は、私たちを、この悪い世界から取り出す事です。世界がどんどん良くなるからではなくて、どんどん悪くなるからです。

シャノン： ですよ（笑）

アミール： 何の為に…私には理解できません。沢山の人が、本当に信じているのです。私たちが、地上でイエスを迎える準備をするんだ、と。聖書には、イエスは天におり、そこで私たちの場所を用意してくださっている、と書いてあるのに。それがまさに、イエスがまた来て、私たちを主のもとに迎えなければならない理由です。主のいる所に、私たちをもおらせるためです。

シャノン： その通りですね。

アミール： それが携拳の本質なんです。ええ。もし地上が良くなっていくなら、私たちが取り除かれる理由がありません。

シャノン： ええ。

アミール： ですから、私はそれが近づくのを見て、励まされます。この世界の狂気に、ではなく、神の約束によってです。この世界がどんなふうにおかしくなっていくのかを、二千年前に、既に、この事をご存じで、だからこそ、イエスは言われたのです。あなた方は、この世において大きな患難がある。

シャノン： ええ。今、何が起きているかという事実に目覚めていない信者が沢山います。認識が大きく食い違っています。つまり、毎日のように、時が早まっているという事について、預言が起こるのが早まっている事について。その原因は、慢性化する恐れか、…なぜなら、アメリカでは、沢山の牧師や講師が、常に恐れていて、彼らは本当の福音を伝えず、患難前携拳説を信じず、ここアイダホでは、携拳が起こる事を全く教えない教会がいくつもあって、置換神学や、沢山の反ユダヤ的な神学が教えられています。ですから、幅広いクリスチャンが、世界で起きている事を見て、こんな風に言っています。「まあ、とりあえず祈りましょう。それ以外、どうしようもない。」そして、私たちにできる事は、まず祈りだ、という気持ちになるんです。自分を低くして、断食して祈って、国のために祈り、トランプ氏とその政権の為に祈りましょう、世界が良くなるために祈りましょう、と。演壇の後ろに立つ教師たちが、こんな風に言うから。「心配しないでください。良くなりますよ。神は、私たちの生活を豊かにする為に来る、と言われました。」確かにそうです。でも、彼らが教えたような形ではありません。今現在、世界中で起きている事については特

に。私たちは悪魔の影響を受けています。つまり、アミールさんが言われたように、新世界秩序があるんです。そしてイルミナティです。沢山の人が、その話題を避けている事は知っています。多くの教会もそれを避け、教えたがりません。または、教会で、こういった情報を与えません。でも、それは真実で、それが新世界秩序や世界統一政府を繰り広げていて、そして最終的には反キリストが現れ、支配し、統治するのです。そして、彼はこれを打ち立てようとしてきました。フリーメイソンの前、1700年代から、現在のソロス、ロックフェラー、ロスチャイルドに至るまで。これは、全ての預言が出揃うまで続き、そして、敵が世界統一政府で自分の位置を確保するのです。もしあなたに、何が起きているかを見る力がなく、そして、世界中で起きている事を論理的に、聖書的に見ることが出来なければ、例えば、この計画された抗議や、そしてマタイによる福音書24章のように、国家間や人種間の争い、「民族は民族に、国は国に敵対して、」ですね？そしたら、機会を逃してしまうんです。主に召されて、証人となり、主の名を告白し、燃やされ、そして人々に、イエスによる救いの知識をもたらす機会を。

アミール： ええ、同意します。シャノンさんに同意します。そして、まさにその為に、ヨハネの黙示録2-3章には、7つの教会への手紙があるのだと思います。1つの教会ではなく。彼らの多くが、それぞれいろいろな方向を向いており、そしてキリストは、彼らに言いたい事があったのです。私は心から信じています。誰が携拳され、誰がされなかったかを見て、私たちは、きっと驚くはずです。

シャノン： 私も同意します（笑）

アミール： 私はちょうどツイートしたところですが、確か、一日前だったか、数時間前だったか忘れてしまいました。ツイートしたのは、多分、携拳が今、この瞬間に起こったら、アメリカの政権から非常に多くの人を取り除かれるでしょう。そして、そのためにこの国は倒れるでしょう。リーダーシップが無くなりますから。そして、沢山の大きな教会や牧師が取り残されるでしょう。沢山の教会員が、まだ地上にいて、携拳が起こった事も気づかないでしょう。ところで、私がこれを書いたとき、あれです。これは聖書の預言への答えだと思いました。ひとつに、アメリカはイスラエルを助けられません。アメリカは、明らかに国内で起きている事に対処しなければなりませんから。しかし、同時に、大いなる背教が始まるでしょう。つまり、あの地上に残された人たちは、何とかして・・・何が起こったのか、説明しなければなりませんから。

シャノン： ですね。

アミール： そのために、あらゆる間違った教えを用いるでしょう。

シャノン： ええ。

アミール： それで、考えていたのですが、神の教えに基づいていない人には、何が起きているのかを、本当に理解し、同時に心に平安を保てる見込みは、ごく僅かでしょう。すでに前もって語られていた、これらの事を、もし理解していないなら、つまり、信者は既に勝利している事、それから、信者は神の怒りを受ける運命ではない事。信者は、やがて世界に来る試練の時から取り除かれ、そして、もちろん、患難時代は、イスラエルの救済の為であり、教会とは関係がありません。教会は、ヨハネの黙示録全体に書かれている7年間の時期には完全に存在しなくなります。

シャノン： その通りですね。そしてそれが、この伝道で人々を励まそうとしている事です。神のことばが置き換えられることはありません。そして、神のことばを知り、学び、ゆっくり考え、熟慮しなければなりません。教師や牧師の観点だけを聞き始めると、問題が生じます。ベレアの人のように、聖句に戻って章ごと、節ごとに調べ、聖霊に、その御力を通して物事を示してくださるよう求めなければ、おそらく、文脈を理解出来ないでしょう。ええと、テサロニケ人への手紙第二で、テサロニケ人は、いつも様々な誤った事に曝さらされていました。彼らは、携拳を逃したと考えていました。それは、なぜなら・・・

アミール： 彼らは混乱していました。偽教師がやって来て、彼らを混乱させたんです。

シャノン： もちろん偽教師です。さあ、今日、何があるか見てください。みんな聞いています。ユーチューブがあります（笑）多分、それが一番の情報源の一つでしょう（笑）。皆さんが聞いているのは、最悪のものかもしれません。なぜなら、本当に多くの偽の教えがありますから。そして、自分で混乱してしまうのです。「誰も知らない。」「患難中期なのか、患難後期なのか？」「みんな苦しんで死んでしまうのか？」「もし、獣の印を受けないといけなくなったら？」聖書的な原則に立ち返り、神のみことばを知らなければなりません。知恵と知識と分別を、祈り求める事ができなければなりません。沢山の情報があります。でも何が起こったのでしょうか。テサロニケ人に何が起こったでしょう。パウロは戻って、手紙を書いて、テサロニケ人への手紙第二で言いました。「違います。率直に言わせてください。これが今起こっている事で、これがあなたがいる場所で、あなたがたは携挙を逃してはいません。大丈夫です。私の最初の手紙で書いた事を守ってください。」ですね？（笑）そして、誰かが皆を連れ戻す必要がありました。ある線まで。基準線です。そして…。

アミール： 調整し直し。

シャノン： そう！再調整。再調整して、真理に戻らなければなりません。「真理はあなたを・・・」今日は嘸みますね。

「真理はあなたがたを自由にします。」(ヨハネ8:32)

真理を知る必要があります。なぜなら、そこら中にいろいろな物があり、真理でない事が宣伝されているからです。さて、メディアの話に戻りましょう。アミールさん、この左翼でリベラルなメディアと、彼らが世界に押し付けようとしている行動計画を見ると、それはアイデンティティ政治ですが、それが現在、リベラルが持っている一端です。アイデンティティ政治を利用して、次のアメリカでの選挙に勝とうとしているのです。支配するために分断しなければならず、そして、人々が互いに対立するように仕向けます。混乱を起こし、苦痛をもたらさないといけないのです。彼らは勝つ為に、全ての人のお互いへの恐れ、不備、不安を利用する必要があるのです。彼らは、アミールさんが仰った様に、台本のあらゆる事を行いました。つまり、私たちが知る限り、彼らがまだ試していない唯一の事は、トランプ氏を競争から降ろすための暗殺の企みです。

アミール： ええ、恐れは大きな要素ですね。彼らはコロナウイルスに長い時間を費やしました。シャノンさんも覚えているでしょうが、社会的距離を取ることが求められ、マスクの着用が求められ、50人以上が同じ場所に集まることが禁止され、そして、突然、この「人種カード」が出て来て、社会的距離は、もう、どうでも良くなりました。なぜなら、私たちは前進し、彼らは理解したのです。アメリカ人も、他の国々のように回復するだろうと。それで、何かをする必要がありました。そして、突然…教会に行くのはダメですが、何十万もの人々が、ロサンゼルスの上に集まるのは問題なくなりました。あるいは、デトロイトでもどこでも。不思議なのは、教会の礼拝を許可しない、その同じ市長や知事が、教会が、ジョージ・フロイド氏の葬儀を執り行うのを許可し、今や大規模集会を許可し、出席すらしているのです。一方、教会では、未だに集まる事が出来ません。ですから、明らかに、ここには行動計画が見えます。これらの事、全てを通して見る事が出来ます。でも、良い事は、リベラルなメディアは、もはや自分の舞台を失ったのです。そうですね。今はソーシャルメディアがあって、一回目の選挙の時、トランプ氏は、ソーシャルメディアを上手く使いこなし、彼は、二期目の今回も、上手く使っています。素晴らしい、保守的な活動家や影響力のある人たちを、何百万人もの人が見ています。例えば、キャンダス・オーウェンさんは、3~4日前に動画を上げましたが、（訳注：face book）8千万人以上が見ました。アメリカの人口の四分の一の人が、もうすでに知っているんです。それは、全てではなくとも、アメリカのほとんどのテレビ局が、出来なかったことです。

シャノン： ええ。

アミール： そんなに多くの視聴者はいません。彼女だけでなく、チャーリー・カークさんや、デイビッド・J・ハリス・ジュニアさんや、それから、・・・もっと沢山います。名前は全部は覚えていませんが、

全員フォローしています。なぜなら、この人たちは、文字どおり、恐ろしい欺きから救われた人たちで、つまり、「人種カード」の欺きから。

シャノン： ええ。

アミール： 彼らは、これが民主党の策略だと理解しています。その策略が、ずっと成功して来たのです。そして、この全体が・・・、シャノンさんが気づいたか知りませんが、数日前に、最近の世論調査の結果が発表されました。45%のアメリカの黒人が投票に行き、実際にトランプ大統領に投票する。少なくとも、トランプ大統領が支持されている事が証明されました。これは、民主党にとって、とても気になる事です。彼らは、少数派がこの全貌に加担し、トランプ大統領を倒す事を期待していたのです。さて、良い事は、さっき言ったように、私たちに可能になった事です。今、この番組を通して、10年前までは、メディアが我々に許さなかった基盤を通じて、^{たいし}真実を伝えられるのです。ほら、声を上げられるのは、素晴らしいですよ。私は、沈黙する多数派に^{たいし}対峙しました。トランプ大統領も、多数派が沈黙している事がつらいと思いますよ。

シャノン： ですね。

アミール： 私は、今が声を上げる時だと思います。ソーシャルメディアを、真実、事実、そして沢山の希望で溢れさせる時だと思います。そして希望・・・、私は今朝ちょうど、警察官の動画を見たんですが、女性の黒人警官が運転している動画でしたが、彼女は泣いて、すすり泣いていました。彼女が言った事は、基本的には、彼女がお店にいた時に白人の若者が近づいてきて、「あなたの為に祈らせてもらえますか？」と。

シャノン： ああ。

アミール： 「あなたたちは今、大変な状況にいると思います。あなたの為に祈りたいです。」と。そして彼は祈り、それが彼女の心に響いたんです。

シャノン： ええ。

アミール： つまり、彼女は・・・、これがアメリカの希望です。祈りがアメリカの希望です。欺きではなく、真実。

シャノン： それは「真実の声」の・・・、もしアミールさんがこの番組を見たことがあれば、私が番組が終わる前に言う事です。視聴者さんを励ますためです。私たちは、皆さんに声を上げてほしいのです。この番組では、皆さんを主の下にお連れして目を開いてもらう他に、皆さんに声を上げるよう励ましています。敵の声はとても大きいです。世界は闇の中で眠っています。その闇の中で真実は戦えません。なぜなら、光の中で眠っているからです。アメリカ人の、世界中のクリスチャンは声を上げないといけません。真実を話さないといけません。話し、みことばを知り、福音を伝え、立ち上がり、人々の為に祈らないといけません。その白人男性が彼女に近づいた時、その警察官に起こったことは、彼女の人生に強く影響し、おそらく、何十万もの人がそれを^{こも}見ました。それが大事なんです。もしあなたが、敵が襲い掛かるのを許し、恐れながら暮らし、引き籠り、何もせず^{こも}にいて、それでいて、世界の状況を見て不満を言っているなら、それは、クリスチャンが十分大きな声を上げず、そして政治に関わらないからです。アミールさん、この抗議を見て、大勢の人たちがこの事に抗議しています。つまり、いわゆる、この“紳士への不正”、白人警官に殺されたジョージ・フロイド氏の事で、では、クリスチャンの中で、立ち上がって平和的に教会を開くよう求めた人たちは、世界のどこかにいましたか？

アミール： ええ。シャノンさんに同意します。つまり、多くの警官が殺された事に対して抗議したクリスチャンがいたでしょうか。この略奪や何かの中で殺された、黒人たちの為には？その中で、一つ言わないといけない事があります。私が失望したのは、メディアでもなく、リベラルでもなく、クリスチャンでした。つまり、正直に言うと、なぜ特にこの事に失望したかと言うと、行動計画がある事は知っています。策略がある事も知っています。でも、多くの牧師さんたちが立場を表明しなかったことに失望しました。正直に言って、それは彼らが説教壇から教えている事を反映しているんでしょう。なぜなら、つまり、私は、この

事についてどうやって黙ってられるのか分からないのです。ところで、多くの方が私にメッセージを送って来て言います。「あなたを聖書の講師として愛していますよ。でも時事問題に触れないで下さい。政治的問題についての意見も。」そして私は…、すみません（苦笑）、失礼ながら第一に、聖書は、聖書の全ては、当時の、そして現在の時事問題を語っているのです。第二に、それが、私が聖書を教えるのが好きな理由の一つなんです。なぜなら、世界中で起こっている事が、神が既にこうなるだろう、と言われた事と完璧に一致するのが見えるからです。しかし、私には声があります。それは沈黙する為ではなく、二つの事を伝える為です。A) 真理、B) 希望 私は希望があると思います。希望とは、イエスです。他のものはありません。他の道はないんです。私は、今、天路歷程を読み直しています。

シャノン： そうですか。

アミール： なぜなら、私もまた、自分を再調整しないといけませんから。

シャノン： ですねえ。

アミール： 現在、起こっている事を受けて。他の道はありません。他の道はないんです。イエスの他には、イエスに立ち返る他は、道がないんです。なぜなら、私たちは…、ところで、私たちが今見ているものは、無に等しいです。非常に近い未来に、世界が向かおうとしている事に比べたら。

シャノン： ほら、私たちがいつも頂くメールで言われるのは、「6番目の封印が、今、開かれました！」あるいは印…そして私は、「違います、違います！」ああ。「ちょっと待ってください（笑）戻ってください。6番目の封印が、開かれたはずがないです（笑）」ああ。「聖書をもっと読む必要がありますよ。」もし恐れの中で生活しているなら、ここにパニックがあります。それに繰り返しますが、神は、私たちが御怒りに会うようには定めておられません。祝福された希望、励まし合うべき言葉は、携挙ですよ？ですよ。これらのことばで励まし合うのです。イエスは戻って来ます。私たちは携挙されて、ここを出て行きますよ？もし、私たちが、患難時代を全て通らないといけないなら…。

アミール： イエスは、将来の花嫁をボコボコにしてから、連れて行ったりしません。

シャノン： ですよ（爆笑）

アミール： もしもし？それは神のやり方ではありません。

シャノン： いや～（笑）今のはツイートした方が良いですね（笑）良いですね。しかも真実です。イエスは、そんな事はされません。どうしてイエスが、花嫁を殴って傷つけたがるのでしょうか。ですよ？

アミール： 実際、私はいつも言うのですが、パウロが、テサロニケ人に携挙について話した時、彼は決して患難には触れませんでした。

シャノン： ん？ですね。

アミール： パウロにとって、携挙と患難は関係ない事でした。それは差し迫っていました。

シャノン： ええ。

アミール： それは当時も、現在の私たちにとってと同じくらい差し迫っているべき事でした。そして、もちろん患難は、携挙とは何の関係もありませんでした。私たちは、患難時代の中期や後期に携挙される事はありません。なぜなら…ところで、もし、中期か後期に携挙があると思っているなら、その日が正確に分かるでしょう（笑）

シャノン： ですね！

アミール： 聖書には、7年の患難時代の正確な年、週、日が書かれています。ですから、患難前に携挙される事以外は、何であれ、携挙が差し迫っている、という考えを無効にするものです。

シャノン： そして、更にもう一步踏み込めば、テサロニケは、携挙を逃した^{のが}と考えました。患難への言及はありません。それは、文脈から、テサロニケ人は患難前携挙説を信じていた、と分かりますよね。

アミール： もちろんです。そして、誰かがテサロニケ人に、主の日が既に来た、と言った時、パウロは言いました。「ほら、主の日は…」これは、患難時代全体を表す言葉です。“主の日”、全ての預言書を読めば、書いてあります。主の日は、大いなる背教、反キリストの登場、これら全てが起こります。それは、あなたには起こらないのです。つまり、失礼ながら、その同じ反キリストは、引き止める者が取り除かれるまでは登場できないのです。ですから、もし、あなたがその時点まで、つまり反キリストが、まさに登場する時点まで生きていたとしても、あなたは、反キリストを見る事はないでしょう。

シャノン： ええ。

アミール： 反キリストが登場する為には、あなたは、取り除かれたいといけないからです。ですから、要するに、それは狂気じみしています。私たち自身、これに意見が一致していないなんて、狂気じみしています。でも、私はまだ希望を持っています。沢山の人が、今起こっている事を通じて、沢山の人が、本当に慌ててイエスに立ち返り、目が開かれ、生活が一変してしまった、と理解するでしょう。ほら、COVID-19の始まりは、私たちが今まで生きて来た世界は、もう離れてしまった事を示しました。それまでです。もう戻らないのです。そして、これらの暴動は、間違いなく、アメリカに示すでしょう。アメリカは、現時点での自分のアイデンティティの為に戦う必要がある事を。仮に、自分の生きる時代を私が選べるとしたら、私は現代を選ぶだろうと思います。それは、正直に言って、正直に、パウロがローマ人に言ったように言いますが、聖霊に導かれて、こう言おうとしているように感じますが、私は、私が生きていうちに携挙が起こる、と信じています。

シャノン： ええ。

アミール： 私は、私たちは過ぎ去ることがない世代だ、と信じています。私たちは、イチジクが芽吹くのを見る世代で、イスラエルがよみがえり、エルサレムが取り戻されました。つまり、それがすぐそこに迫っているのを見ないでいることが出来るのでしょうか。どうやって敵の計画を見て、落ち込んでいられるのでしょうか。他のあらゆる事を見て、実際、私は励まされます。

シャノン： まさにそうですね。今、世界中で起こっている事、この混乱とカオスを起こしているもの全てが明らかにしています。それが皆さんの黄金の切符であり、励まされるための道具なんです。アミールさんが仰った様に、祝福されるための。そして、それを使って言いましょ。「わお！私が小さい頃に教わった事、お婆ちゃんが読んでくれた事、学校で、日曜学校で勉強した事、全てが起こっている。」これは、あなたに神のことばへの確信をもたらすでしょう。これは、あなたが持っていた、主、救い主への確信をもたらすでしょう。あなたを愛し、この時に備えていた主への。そして、この情報を用いて、見張り人になり、先駆者になり、福音を伝え、警告を鳴らし、地の塩、世の光になりましょ。これは、そのためのツールです。今こそ、あなたが立ち上がって力を受ける時です。今こそ、伝え、声を上げる時です。今こそ、励まされ、祝福され、聖霊の力の下に歩む時です。黙ってはいけません。これは励ましです。私たちには確かに希望があります。これらあらゆる事が起こっています。カバール、悪、新世界秩序の計画、秘密結社、国際金融資本、ディープステート。ネットに生息している、こういったものに捕らえられて、ネガティブな事にはまり込む事もあるでしょう。その時、神は言うておられます。「ほら、この事はもう言うてあるじゃないか。」この情報をもって、出て行って、あらゆる国の人々を弟子としましょ。現在起こっている事を伝えましょ。アミールさん、だからこそ、あなたが時事問題について話し続ける事が重要なのです。だからこそ、今、世界中で起こっている事に、人々の視線を戻し、それが聖書的にどう関連しているかを示す事が重要なんです。なぜなら…

アミール： 私が思うに、・・・

シャノン： ええ、続けてください。

アミール： 私は、話すな、と言われるほど、話さないといけない、と確信します。なぜなら、それだけ沢山の人が、闇の中にいて、真実を聞く必要がある、という事だからです。

シャノン： その通りですね。沢山の人がいて、アミールさんの言う通り、そのほとんどがクリスチャンです。そのほとんどの人は、自分たちが今どこにいるのか、明確な理解がないんです。これから良くなる事はなく、悪くなるでしょうが、あなたの状況はもっと輝くべきです。状況が悪くなればなるほど、あなたは、もっと力づけられるべきです。もっと熱意をもって言うべきです。「よし！今こそ出なければ。」もし、やるべき時があるとするとするなら、それは今です。沢山の牧師さん達が、伝道の全てを、説教壇の後ろに座って過ごし、今何が起きているか正確に伝えていきます。そして、今こそ、試合に参加する時です。そして競争を力強く終えないといけません。辞退する人、引き返す人が沢山います。それはダメ。力を受けるのです。コーヒーをもう一杯飲んで、行くのです。大切な事を伝えるのです。強められ、大衆を励まし、羊たちを励ますのです。彼らの世話をし、外に出るように励ますのです。福音を伝え、純粋なやり方で物事に着手し、しかし、愛をもって行うのです。そしてこれは別物です。アミールさん。反対に、敵意的で、攻撃的になっているクリスチャンが多くいます。全ての物事が苦々しく、腹正しくなっています。しかしそれは、主の元に人々を勝ち取るやり方ではない、と思いませんか？

アミール： そのやり方は違いますね。私は、真実を話す時、そういう態度にならないよう、いつも気を付けなければなりません。それと、おっしゃる事には同意します。それから、私が最近本当に心配なのは、皆、批判されないよう、無難な位置を選んでいきます。牧師さんたちは、人から好かれ、クールに見られる方を選びます。真実を告げるのではなく、メガ・チャーチの牧師さんたちが、こういった運動に出かけて行って行進するのを見ると、その行進の中で、牧師さんたちと現実とが大きく食い違っています。私は、それが怖いんです。つまり、それらの牧師さんたちは、文字どおり、存在しないものを認め、そして、存在するものを無視するんです。

シャノン： ええ。

アミール： ですから、私たちは非常に気をつけたいといけません。一方では存在しないものを認識しようとするグループに所属し、しかし同時に、悪、欺き、そういった全ての存在するものについて語る時、私たちは、シャノンさんがおっしゃった様に、愛をもって語る必要があります。とても難しく、容易ではありません。これは、私がいつも格闘している事の一つです。何とか辛辣しんらつになったり、怒りを持つ事なくどうメッセージを伝えるか。なぜなら、正直に言いますが、私は、そういったものを見ると、怒りを覚えます。こうしたものを見ると、あまり良い気持になりません。つまり、18、19、20歳くらいの人たちが、彼らは、良い家庭で育ったんです。良い子供たちです。それが、一晩で、国内テロリストに変わってしまうんです。

シャノン： ええ。

アミール： 誰かが、彼らを洗脳するんです。彼らを洗脳するのは、億万長者達で、彼らは、これらの人生を気に留めないんです。過激化は、短大や大学で始まってそれがどこから来たのか、はっきり分かります。それが、いかに発展して、1920年代、社会主義を実行するフランクフルト学派が、ドイツを悩まし始めた時、ヒトラーが現れて、違う形式の社会主義を彼らに与えました。それで、彼らは立ち去り、それからニューヨーク市に来て、それ以来、あらゆる学術機関を汚染し続けています。ほら、両親達は、何千ドルものお金を学費として支払います。何のために？ それらの大学から送り出される国内テロリストを受け取る為です。こうした事を見るのは、とても悲しい事です。

シャノン： それは悲しい事です。アミールさんが言われた、怒り、失望の感覚、私にとって、それはイライラし、悲しい事で、自分の愛する人々や、自分の国が崩壊するのを見ると、皆の肩を揺さぶって、言いたくなります。「彼らの筋書きもてあそに弄ばれているのが分かりませんか？あなたは洗脳されているんです。」特

に、「ブラックライブマター」とか、社会不安とか。私は、これが内戦に繋がっていくと信じていますが、しかし今、起こっている人種についての論争、毎日苦しんでいるアメリカの黒人や、少数派が、世界中にいます。その声が聞かれるように。世界中に不正があります。そして、そこに左翼が入り込んで、これらの機会を無駄なく利用するのを見えています。一種の伝染病、あるいは患難が起こると、彼らは素早くそれに乗りかかり、人々から筋書きを盗み、皆がその筋書きを受け入れるのです。本当に心が痛みます。自分の声が届くと思っている。大声で叫ぶのには理由があり、嘆き悲しむのにも理由があったでしょう。社会的な不正があり、人々は殺され、それはアメリカだけでなく、世界中にあります。そして、なお、左翼の人たちは、そうした人々の声を盗む機会を無駄にしません。私はこの事がとても悲しいです。つまり、私たちの社会全体が、自らそれに入り込み、少し興じて、その時までには洗脳されてしまい、アミールさんがおっしゃった様に、その時点で、皆が国内テロリストになっているのです。子供たちが走り回って建物にレンガを投げ、不思議なのは、あそこに行った子供たちの内、一人でも、お金を受け取らずに抗議している者がいたのでしょうか。ビルの前に並べられたレンガを見て、「これはどこから来たんだろう？」と言う？（笑）

アミール： そう！「昨日は無かったのに？」（笑）

シャノン： ええ。「昨日は無かった。」（笑）

アミール： シャノンさんの仰るとおり悲しい事です。ところで、私も、確かに世界中に社会的不正があると思います。面白いのは、社会的不正のある国が、現在アメリカを批判する国々です。

シャノン： ですね。

アミール： 中国？ それからイラン？ すみません？

シャノン： ええ。

アミール： 自国民や自国の少数派を、虐殺している国々です。それからトルコなどの国内で起こっている事を見ても、要するに、社会的不正や政府の悪事、それは邪悪で、全体を悩ましています。先日、私は、イギリスの人々とズームでのミーティングを行いましたが、誰かが画面全体を乗っ取って、冒涇的な事を描き始め、それに鍵十字を付け加え、そして、全員に向かって叫びました。「ヒトラー万歳！ ヒトラー万歳！」ですから、言いたいのは、悪は社会の中に深く根差しているんです。そして、悪に悪で返すのではありません。イエスだけです。彼らに必要なのはイエスだけです。「ブラックライブマター」は要りません。暴力行為も必要ありません。イエス以外には、何も要らないのです。彼らが今いる悪の闇の場所から、彼らを救える人間は、誰もいないのです。私は、その人の事で悲しくなりました。ヒトラーが何をしたか知っていながら、2020年の今、ヒトラー万歳と言うなんて。多分、彼は、それが今まで起こったことの中で、一番良かったのだと、洗脳されたんでしょう。

シャノン： 彼は間違いなくそうでしょうね。ええ。自分の周りにいる全ての人への、怒りと憎しみ。その事を話して、そしてアミールさんは中東での社会的不正について話しましたが、今起こっている、つまり、アサド大統領は、自国民を殺している訳ですが、中東ではいつも緊張があります。つまり、領土の事を巡って。今、高まっている緊張、イスラエルが進めている合併に伴う緊張について、アミールさんは、この緊張がエスカレートして、エゼキエル書38章の戦争のきっかけになると、見えますか？どう思われますか？

アミール： それは、メディアが得意とする事をメディアはしようとしている訳で、実際には、そこには存在しない緊張を造り出しています。ほら、パレスチナ人は疲れています。彼らは疲れています。彼らは、彼らの指導者が、自分たちのお金を全て盗むのを見えています。彼らは、自分たちが苦しい時に、彼らの指導者たちは億万長者であるのを見えています。彼らは、また、何年もの間、同じ方法で戦い続けたのに、何も得られなかったのを見えています。彼らは、これは彼らに影響しない、と理解したんだと思います。それは、単純に、イスラエル入植地は今ある場所に留まり、パレスチナ人も、今いる場所に留まります。そして合併の地域は、どのみち、今、イスラエルが管理している地域です。パレスチナ人を家から追い出そう、としている訳ではありませんし、土地を奪って、「あなたたちは出ていき、私たちが入る」、そういう事ではありません。そういう事は一切起こりません。それは、むしろ象徴的な事なんです。私は、メディアは、彼らを煽る

うとしているんだと思います。しかし、私は、大使館をエルサレムに移す時にも、同じ事を見ました。覚えておられるか分かりませんが。そして、エルサレムが首都だと認めた時も。これら全ての事は、あのですね、上手くいきませんでした。私が言った通りでした。私は、それでも信じています。つまり、崩壊…もし、アメリカが崩壊したら、崩壊と言うのは、つまり中東情勢との関りが無くなるという意味で、他の事は話していません。

シャノン： ええ。

アミール： もし、アメリカが重要でなくなれば、もし、アメリカが、内部破裂によって、国内問題に対処しなければならず、もはや、中東情勢に対処しなくなれば、その時は、エゼキエル書のシナリオが全速で加速するでしょう。事実、私が信じているのは、正直に言いますが、怖がらせよう、としているのではありません。しかし、もしトランプ氏が11月に落選したら、それは、イランとロシアとトルコにとって、何であれ、彼らの残忍な計画への“Goサイン”になると信じます。これらの国々が、彼らの望む事を実行する道に今、立ちただかる人物が、一人います。それは、トランプ大統領です。それで、私は彼が落選しないように、当選するように祈っています。

シャノン： ええ (笑)

アミール： 私は・・・、これはアメリカにとって最後のチャンスです。言っておきますが、彼らは、理解しません。ほら、私がアメリカ国内の至る所で見ている事、オバマ大統領が8年前に行った、アメリカの道徳、社会の組織的な破壊の後、有難い事に、この3年半で、それは大きく回復しましたが、もし、トランプ大統領が再選しなかったら、私は怖いのです。これは超大国としてのアメリカの終わりであり、自由世界のリーダーとしてのアメリカの終わり、シャノンさんや私が握りしめ、支援してきたもの全ての終わりです。そして、私はいつも信じようとしてきました。アメリカが重要でなくなるのは、なぜなら、携拳が起こり、アメリカのリーダーシップが失われるからです。

シャノン： ですね。

アミール： 私はまだ、その為に祈っています。私は、それが一番の選択肢だと信じています。でも、もしトランプ氏が落選するなら、私たちに与えられるグループは、間違いじみて、異常で、リベラルで進歩的で、不法の者達で、彼らが、この国を乗っ取るでしょう。それで終わりです。

シャノン： ええ。

アミール： 私は、アメリカは、一夜にして力を失うと思います。

シャノン： ええ。

アミール： イラン人は欲しいものを手に入れ、パレスチナ人は欲しいものを手に入れ、そしてもちろん、全ては・・・、世界の多くの地域でカオスが支配する為、完全に自由になるでしょう。

シャノン： それは秩序のないカオスで、彼らが、ずっと望んでいたものです。何百年の後、何千年と言うべきかもしれません。彼らは、ようやく手に入れるのです。彼らは、社会を完全に破壊させて、新世界秩序を立ち上げようと、ずっと試みて来ました。そして、1人の人物が全てを支配できるように。それは、ここまで来ています。もう、ドアをノックしています。皆さん。それは・・・、いろいろな人から尋ねられます。私はアミールさんのツイッターで見たとありますが、ですから、アミールさんの発言のパクリになると思いますが、言います。人々は、時のしるしを探しているが、あなたは、ラッパが鳴るのを聞いている。

アミール： その通りですね。

シャノン： そして、そこが私たちがいる場所です。その事に疑問はありません。ラッパが鳴ろうとしており、左翼が望むものを手に入れようとしています。私は信じます。そして、アミールさんの言われた事全てに同意します。ゲームオーバーだと思います。これは落胆ではなく、落胆を助長するものでもありません。これは皆さんにとって目覚めて、こう言う時です。「よし、行こう。競技の時間だ。」競争を力強く終える時です。あなたが力づけられる時です。あなたの声を届けましょう。ソーシャルメディアを、常に人々を励ます為に使いましょう。ただソーシャルメディアを開き、自分のアカウントでライブ配信して、聖句を読み、投稿、そして友達や、友達の友達にシェアするとか。皆さんに出来る事は沢山あります。神のことは、どんな両刃の剣よりも鋭いのです。もし何をすれば良いか分からなければ、私はお勧めします。聖書を読み、そして、お友達にソーシャルメディアで送り、聖句を投稿するのです。私たちは説教を投稿します。私たちは、アミールさんの中東情勢アップデートや、彼がビホールドイスラエルに投稿した内容を投稿します。”Every Manan Answer”の投稿や、あなたの教会の聖書の学び、或いはこの番組、「The Voice of Truth (真実の声)」を再投稿してください。自分が無力だと感じる事なく、出来る事は沢山あります。アミールさん、沢山の信者は無力だと感じていると思います。彼らは知識がないと感じ、福音を教える資格がないと感じています。それは、西洋の教会にある階級制度が原因だと思います。何となく、能力が無ければ、自由に教壇を持ってないと思わせるような、牧師でなければ上手く説教できない、教壇を持つてはいけな、と。でも神は、あなたを、口を開いて話すよう召しておられます。ですから、もし対面で伝える自信が無ければ、ソーシャルメディアを基盤として利用し、伝えましょう。今より良い時はありません。何か失うものがあるのでしょうか。現時点で私たちが失うものは何でしょうか。何もありません。友達を失くす、と思うかもしれません。仕事を失うと思うかもしれません。でも、アメリカでは、ほとんどの仕事は、まだ再開もしていません。もしあっても、この暴動で燃やされてしまうでしょう。何も失うものはないのです。皆さんの行き先は天の王国です。

アミール： もし、皆さんが聖書の聖句を引用して仕事を失うなら、間違った仕事に就いていた、という事です。

シャノン： アーメンです。

アミール： シャノンさんがおっしゃるように、聖書の聖句を投稿することで、失うものがあるのでしょうか。聖書から、つまり、何か失うものがあるのでしょうか。でも、それが間違いなく誰かの人生を変えるのです。そして、私たちビホールド・イスラエルでは、オンラインで聖句の朗読をしています。私たちは、ズームで祈禱会をする予定です。私たちは、青年の・・・、私は若者たちがこの狂気に悩まされていると信じています。私たちは、若者のオンライン・ミーティングを始める予定です。彼らに真実を伝える為に。つまり、彼らは洗脳されていますから。そして、はい、今こそ口を開く時です。大きな声で。沈黙せずに。

シャノン： 他に出来る事は、「救いのABC」です。J.D.ファラージさんや他の牧師も、説教を投稿する時は、アップデートや説教を、「招き」や「救いのABC」で終わります。皆さんが理解する事はとても重要です。イエス・キリストを、主であり救い主として受け入れたい人を主の下に導くのは、本当に簡単です。上手に話す必要はありませんし、神学校で知識を得る必要もありません。人を主の下に導くのに大事なのは会話であり、関係性です。ギャップを埋めて橋を架け、共通性を持つのです。彼らに、彼らを愛する父が天におられる事を伝えるのです。彼らが人生で何をしてきたとしても、彼らがどんな経歴を持っていたとしても、どんな罪に関与したとしても、敵から、どれほど残忍な非難を受けているとしても、天には、彼らを愛し、^{あがな}贖ってくれる神がおられます。今より他に、彼らが救われる時はないのです。今は、世界中で起こっている事を利用することが出来ます。愛を通じて人々を励まし、時には、ユダの手紙にあるように、恐れを通じて主に導く必要があります。ですよね？そして、これを使って、彼らを励ましてください。

A. 神を認める。神は今起こっている事全てを聖書に書かれ、イエスは神の子であり、イエスは死から三日目によみがえり、イエスは治めます。私たちはイエスとともに永遠に治めるのです。

B. は信じる。イエスを信じるのです。イエスは道であり、真理であり、いのちであり、イエスを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことは出来ません。そして、

C. は告白する、です。イエスを信じている事を。誰かに真実を伝え、声に出して告白するのです。イエスが主であり、救い主であると告白するのです。そしてイエスを心に受け入れるのです。文字どおり、こんなに簡単なのです。鈴や笛は必要ありません。とても単純です。その人を励まし、聖書をあげて、それから、他に出来る事。私が外出する時、車に何百冊もの聖書を積んでいないので、こう言います。「ねえ、ちょっとこのユーチューブ・チャンネルを見てください。」「この伝道者の方のアップデートを見て下さい。」「ラジオで、CSNラジオで私たちをフォローしてください。それか、CSNアプリをダウンロードして下さい。」そして、私は、人々に聞くように勧めます。沢山のツールが手に入りますから、トラクトの束を抱えて歩き回らないといけない、と感じる必要がないのです。それをテーブルに置いて置いて、捨てられるかも知れないと。でも、個人的な繋がり、アミールさんは同意してくれると思いますが、それが人々が今、求めるものです。だから、ソーシャルメディアなのです。人々は、繋がろうとしています。人々は繋がる方法を見つけようとして、間違った方法で繋がっているのです。誰かを主の下に導く時、これが、関係を築くための究極の形です。

アミール： その通りですね。シャノンさんが仰った^{おっしゃ}全てに同意します。とても重要な事だと思います。ソーシャルメディアは、沢山の悪の発信源ですが、信者へのギフトであるとも信じています。声を上げ、用い、福音を広め、人々をキリストに導く、そして世界中の人々が、ソーシャルメディアにアクセスできます。あなたが知らないだけです。知らないだけです。つい先日気づいたのですが、私たちにはインドからの5万~10万のフォロワーがいます。

シャノン： 凄いですね！誰が知っていたでしょう。

アミール： 私は知りませんでした。アルジェリアから、ナイジェリアから、マダガスカルから、つまり、

シャノン： ハハハッ

アミール： 聞いたこともなかったです。でも彼らは見えています。

シャノン： ハハハ ハッハッハ

アミール： 言いたいのは、声を上げ、投稿し、福音を広め、神は、それら全てを喜んでくださると思います。

シャノン： 神は、それら全てを尊重して下さるでしょう。恐れなくてください。CSNラジオを聞いておられる方は、ぜひ私たちにご連絡下さい。聖書をお送り致します。メールでご連絡される場合は、“VoiceofTruth@csnradio.com”です。私たちチームより聖書をお送りします。また、電話もあります。メールも使えます。あなたと一緒に祈ります。励ましが必要な人、出て行って、何を話していいかわからなければ、誰かと話し、世界で起こっている事を語り、証しする時、私たちがいます。電話にお答えし、お話しし、一緒に祈るスタッフがいます。そして、あなたを祈りのリストに載せておきます。皆さん、今この時、祈りと断食がどれだけ重要か、言葉に出来ません。祈りと断食は、あなたに出来る一番大事な事です。神の御前で自身を差し出し、やがて来る困難な時代を目前にして、今、導いてくださるよう、神に求めましょう。なぜなら、アミールさんが仰った^{おっしゃ}様に、これから良くなる事はないからです。この世での戦いに、一人で勝つことはできません。血肉では、戦いに勝つことはないでしょう。私たちが勝利する唯一の方法は、霊によつてです。私たちの先を行かれ、そして、私たちに代わって働いてくださる、神の御霊によって戦うのです。

アミール： アーメンです。

シャノン： 疑いの影を越え、祈りと断食が必要です。交わりが必要です。もし交わりに入っていないければ、入ることが出来る場所が、沢山あると思います。恐らくあなたの近所に。もし知らなければ、私たちは情報源を提供することが出来ます。ですから大丈夫です。大きなネット教会を知っています。名前を幾つか挙げます。J.D.ファラージさん、アミール・ツアルファティさん、ジャック・ヒブスさん、マイク・ケストラーさん、リバー・キリスト・フェローシップ、CSNで素晴らしい番組を見る時です。この番組は、繰り返しますがビホールド・イスラエル、ジャン・メルケルさん、彼女のラジオ番組とユーチューブ動画も、もう

一つの素晴らしい情報源です。沢山の情報源があります。神のことばの下にいるのを恐れなくてください。学び、真実を求め、知恵と知識と洞察と理解の為に祈りましょう。アミールさん、最後に何かありますか？

アミール： ええ、私が思うに、この番組名のように、聞かれるべき、真実の声があると思います。聞かれるべき、希望の声も。そういったことのほとんどは、私たちにかかっています。なぜなら、私たちが聖書を知り、約束を知り、神のことばを知るなら、私たち自身が真実の声、希望の声にならないといけなからです。そしてそれを、迷い出た世界に伝えるべきなのです。今、私たちのほとんどを取り囲んでいる、この狂気の世界にはなおさらです。人々は真実に飢え渴いていると思います。私たちは話し、声を上げるのを止めるべきではないと思います。今起こっている、あらゆる事を見ておいて、何もしない事が最悪です。神は私たち一人一人に、才能や能力を与えておられます。何かを行う為です。そして、私たちは、ただそれを行うべきなのです。黙ってはいけません。あるいは、これに便乗して、いいね！や、フォロワーを増やして、クールになって、そして、もっと受け入れられ、そして寛容になりますか？違います、違います。今は真実を話す時なのです。人々は真実を知らないのです。誰も教える人がいないのです。ですから、そういった人々に真実を伝える時です。そして、あなたがたの番組、「真実の声」が存在することに幸せを感じます。

シャノン： アミールさん、人々が御言葉に飢え渴いていると言いましたね。いのちのパンを与えましょう。その為に、私たちはここにいるのです。アミールさんを、お迎えすることが出来て素晴らしかったです。またいつでもお越しください。大歓迎です。アミールさんとお話しし、関係が築けて良かったです。私たちはアミールさんのミニストリーの為に祈り続けます。私たちの為にも祈ってください。私たちは、アミールさんのミニストリーの今後の発展を楽しみにし、そしてフォローします。もちろん他の人たちにもフォローするように勧めます。

アミール： ありがとうございます。本当にありがとう。

シャノン： もし神が遅れられ、私がイスラエルに行く機会があれば、あなたに会いに行きます。

アミール： アーメンです。楽しみにしています（笑）神が祝福されますように。

シャノン： 神が祝福され、安全でいられますように。それでは。

さて、皆さんが、今日の私とアミールさんの番組から得るものがあつたなら、それは、敵はやって来て、未だに殺して破壊しています。しかし、備えはできていますか？あなたは信者として準備ができていますか？ペテロの手紙第一5章8節にはこうあります。

「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、吠えたける獅子のように、誰かを食い尽くそうと探し回っています。」(ペテロ15:8)

この事を知っていて、自分が霊的な戦いで攻撃されているなら、必要なのは、「神の全ての武具を身に着けなさい。」(エペソ6:11)エペソ人への手紙6章にあるように。そして、戦いに備えましょう。血肉ではなく、聖霊によって、です。しかし、聖霊の力を通じて、神のことばを両刃のと剣して用い、イエス・キリストの血で洗った衣を着て、イエスの名を告白しましょう。この地球が過ぎ去るまで。「真実の声」のシャノンでした。聞いていただいて感謝します。ユーチューブの高評価、チャンネル登録をお願いします。フェイスブックで、シャノン・スコルトンの「真実の声」のフォローもお願いします。そして、質問、関心事、コメントがあれば、メールアドレスはVoiceofTruth@csnradio.comです。神の祝福がありますように！

もし「真実の声」を楽しんでいただけたなら、私たちは視聴者の皆さんに支えられています。金額を問わず、寄付が必要です。CSNインターナショナルに寄付をお送り下さい。「真実の声」と指定して下さい。あて先は、VoiceofTruth,POBox391,TwinFalls,Idaho83303または、CSNRADIO.COMから、寄付のボタンをクリックしてください。VoiceOfTruth@csnradio.comまでどんどんコメントをお寄せください。または、800-357-4226までお電話ください。この番組はCSNインターナショナルの制作です。番組内でのゲストの見解は、必ずしもCSNインターナショナルやこの番組の見解ではありません。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.07.08 (Wed)